

令和5年度 第3回 介護予防・活躍推進に関する会議
(書面会議) 構成員からの意見

■構成員からの意見

北九州市しあわせ長寿プラン素案に対するパブリックコメント実施結果等について

<p>計画全般に関わるもの</p>	<p>○増えつつある「空き家」の活用を進めて頂きたい。</p> <p>○介護従事者増の為の施策を推進して頂きたい。 例)給与 up や待遇改善。</p> <p>○166 カ所ある「いこいの家」の活用を進めて頂きたい。(活用方法改善・いこいの家の集約・活用等)</p> <p>○「しあわせ長寿プラン」の多種多様にわたる取組みが思案されており、理根的なプランになっていると思う。 市民の意見にもあるように、社会保障への不安、そして地域のつながりが希薄している。調査結果からも疑念されている事で、色々な事業成果をあげられたとしても、その後住み慣れた地域で健康づくりや支援活動を定着させるためには、地域との連動性が必要であり、受け入れる土台の地域づくり支援が課題と考える。</p>
<p>目標1 目指そう活力ある100年 ～健康長寿～</p>	<p>○60歳以上の就労者の割合を増やす取組みが少ないため、具体的な案を記載してほしい。 例)市内の民間企業との連携(再雇用の促進、シニア採用の積極化など)</p> <p>○難しいと思うが、第2回の会議でお話させてもらっていたように最低賃金を下げる(500円など)、もしくは実質半分近い負担になるような民間企業へのシニア雇用に対する助成制度を考えてほしい。</p> <p>○シニア人材へのリスキリング支援。(シニア雇用に向けて、特にサービス業や製造業を中心にした技能実習中心の内容)</p> <p>○パブコメ38の回答について:口腔機能、栄養、リハビリがバラバラに対応を行うのではなく、トータルで個人個人のマネジメントを行うことが必要ではないかと思う。</p> <p>○健意づくり推進の会として、具体的付取組みについて、私達の会は市民センターを拠点として活動して会のスローガンとして、北九州</p>

<p>目標1 目指そう活力ある100年～健康長寿～</p>	<p>市の目標、健康寿命の延伸を掲げている。目指そう活力ある100年～健康長寿～高齢者が人や地域のつながりながら活力ある日々を送るために支える側として活動していく事。併せて健づくり・介護の必要性を理解して正しい知識、方法を習得実践継続できる活動をしていく。特にフレイル対策として、会で指して「きた9ミッション」をより広く普及啓発活動に力を入れたい。</p> <p>○令和6年度重点活動に①オーラルヘルスを加え、②フレイル予防活動、③高血圧ゼロのまちの3項目を挙げこれらの重点課題に向け、各センターで活動を進めたいと思っている。</p> <p>○40～74歳対象の「特定健診」を40～80・85歳へと、延長して、早期発見を推進して頂きたい。</p> <p>○認知症検査の早期化・早期発身化と対策早期化を推進して頂きたい。 例) 50歳以上へ(免許更新時や特定健診等)</p>
<p>目標2 人情息づく支えあいのまち～地域共生社会～</p>	<p>○高齢者において、食と口腔、フレイルは健康にいきいきとした生活をしていく上でたいへん重要な課題と考える。栄養士会、歯科衛生士会、理学療法士会などが一体となり、今後の市民への啓発活動を推進していければと思う。高齢者が気軽に参加・体験できるような啓発活動の場が今後さらに広がっていければ良いと思っている。</p>
<p>目標3 選べる自由が感じられる多彩なケア～安全・安心・自己決定～</p>	<p>○近隣市町村では、運動教室地域ボランティアの有償化、またポイント制による助成(地域公民館や自主活動支援へ)や報酬なども取り入れ、定着を図っている。</p> <p>○介護に関する人材不足については外国人留学生の登用を積極的に検討する必要があると考える。(日本人での人材確保は処遇の改善が微増であることから、急激な課題改善には至らないと考えられる)</p>
<p>その他</p>	<p>○パブコメ119の回答について:市の考え方を丁寧に示していただいている。幸福長寿モデル都市をめざし多くの計画が達成できることを願う。高齢化社会でも健康で過ごすためには食は大切だと思う。私達の活動が少しでも役立てればと思う。</p>